

4年組		道徳学習活動案	授業者	直井 秀樹
題材名	新しい友達 2 - (2) 相手の立場			
本時のねらい	誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って温かく親切にしようとする心情を育てる。			
研究内容1	<p>仲間との関わりについて問題が出てきたときに、自分の気持ちだけが先に立ってしまい、相手の気持ちを考えられなくなってしまうことが見られる。また、自分が問題の当事者ではないと問題に関わろうとしない。仲間の中で問題が起こったときにはみんなで考え話し合っている。</p> <p>そんな実態を受け本授業では、主人公やまさ子の置かれた状況に共感し、思いやりの心を持ち、相手の立場に立って温かく親切にしようという気持ちを育てたい。そのために、主人公のけい子さんと自分を重ねて考えさせることによって、思いを表現させやすいようにする。</p> <p>「相手の立場に立った励ましや援助」を終わりの会で紹介する場を設け、また、生活チェックなどで仲間との関わりを把握し、問題には本時の価値「自分が他の誰にもしてほしいと思うことを人にもする」にあるかを照らし合わせて考えさせることで価値の定着をはかる。</p>			
	学習活動		研究内容2	
つかむ	<p>1、自分自身の生活を思い起こす。 (1) 友達にやさしくしてもらってうれしかったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わからないところを教えてもらった。 ・給食当番を手伝ってもらった。 <p>資料の配布(資料を範読する)</p>		<p>・価値への方向づけをする</p> <p>三づくり話し方、聞き方を意識させながら範読を聞かせる。</p>	
深める	<p>2、資料を読み、話し合う。 感想を出し合う。</p> <p>けい子さんは文男くんがまさ子さんの言葉遣いをまねたり、からかっているのを見てどんな気持ちだっただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まき子さんかわいそうだなあ。 ・文男くんはどうしてあんなことを言うのだろう。 ・助けてあげたいなあ。 		<p>感想の中から場面の絵を提示して、話し合う場面を焦点化する。 主人公の思いを考えることで話の状況を確認する。</p> <p>「じゃあ、けい子さんは何でこの時にはなんにもできなかったんだろう。」 切り返し</p>	
まとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・勇気がでなかったんじゃないかな。 ・みんなもだまっていたのでこわかったんじゃないかな。 ・自分もいじめられるのかもしれないと思ったんじゃないかな。 <p>けい子さんはどんな気持ちで注意したのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まき子さんの気持ちを考えてよ。 ・自分が言われたらどう思うの。 ・私もこんなことされたらいやだから、助けてあげたい。 <p>どうして、けい子は何で「みんなにも考えてほしい。」と思ったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まさ子さんの気持ちをもっとみんなにわかってほしい。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分ひとりだけじゃなくて、みんなが相手の立場になって考えることが必要だと思う。 		<p>・周りのみんなも文男に同調していた中で言葉であったことを、考えさせる。</p> <p>「けい子さんは自分の役割を果たしているに、どうしてここまでするのだろうか。」 切り返し</p>	
	<p>3、自分自身を振り返る。 「けい子さんに手紙を書いてみよう。」</p>		<p>・かきにくい子には感想でもよいことを話す。 自己見つけができた児童を意図的に指名する。</p>	
	<p>4、説話を聞く。</p>			